

# きずな



## 我孫子市少年センター便り 第182号

我孫子市少年指導員連絡協議会 会長 深津祥子

我孫子市少年センター センター長 森谷朋子

電話 7185-1367 FAX 7182-5867

## 少年指導員のつづき



今年度赴任した私にとって、パトロール活動は久寺家中学校の周辺や学区の様子を知ることができ、また経験を重ねた指導員の皆さんと毎回様々な情報交換をすることで、日頃の生徒指導に生かされ、指導の活力となっています。

久寺家中学区は、商業施設や明るい場所ばかりでなく、住宅街でも人気がない所もあり、危険な箇所は実際に歩き、見ることで、気がつくことがたくさんあります。

以前に比べ、パトロール中に公園や商業施設などで児童生徒に声をかける機会が少なくなったと聞きますが、我々が防犯灯を持って歩く姿が、地域の人々の目に触れることで、多くの人の生活の安心、安全につながり、また防犯の抑止みに少しでも貢献できることを願い、これからも日々活動を行っていきたいと思います。

久寺家中学校区  
久寺家中学校  
少年指導員 齊藤絵里香

防犯パトロールをしていると、卒業生に出会うことがあります。始めは、白いウインドブレーカーを着た複数の大人と青い誘導灯に動揺をしている様子ですが、私の顔を認識すると、「先生、久しぶり！」と元気よく反応をしてくれます。このような何気ない会話こそが、犯罪や非行事故等を抑止することにつながるのだと私は考えています。

子供たちに対して、「大人はいつも君たちを見守っているよ」、「いつでも助けになるよ」、こんなことが伝わればいいなと思いながら、地域の方々と一緒に歩いています。また、防犯パトロールは情報交換の場でもあります。危険な場所の共有、子どもやお年寄りへの注意喚起など、犯罪の起こりにくい地域づくりを目指しています。湖北台中区の子どもたちのために「愛の一声」をかけていきたいと思っています。

湖北台中学校区  
湖北台西小学校  
少年指導員 藪 翔太郎

## 少年指導員研修会

令和5年2月6日（月）に、少年指導員研修会を開催しました。当日は東葛地区少年センター及び我孫子警察署生活安全課から講師をお招きして、前半は我孫子警察署管内及び千葉県内における少年犯罪の状況についてご説明をいただきました。後半は、少年指導員のパトロールにおけるポイントについて、ロールプレイングによる研修を行いました。今後のパトロールで生かしていきたいと思っています。

### パトロールにおける声かけのポイント

- ①大勢ではなく、2人程度で対応し、待機する者は通報役等、万が一に備える。
- ②少年指導員であることを伝える。
- ③相手と目の高さを合わせる。
- ④最後には笑顔で「話してくれてありがとう」と伝える。

参加者の感想：「子どもたちにとって、安心できる存在になれるように、引き続き少年指導員活動が続けていきたいと感じました。」



# 自転車は安全ルールを守って楽しく乗ろう

全日本交通安全協会・警察庁 HP より

子ども 自転車運転免許教室クイズ

正しいものに○、ルール違反には×をつけよう。

1ベルを鳴らして歩行者を  
追い抜いて行った。



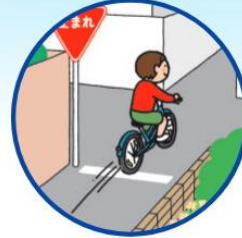
答え

2ヘルメットをかぶってから  
自転車に乗る。



答え

3止まれの標識があっても、  
自転車は止まらなくてよい。



答え

4灯りのあるところでは、夜でも  
ライトをつけなくてよい。



答え

5友達を後ろに乗せて家まで  
送った。



答え

6クイズをしながら、並んで  
走った。



答え

7友達と自転車で競走した。



答え

8自転車は、自動車と同じ仲間。



答え

8問正解



知っているんだから、  
交通ルールは守ろうね。

4〜7問正解



もう一回おさらいしよう。

0〜3問正解



このままじゃ自転車に乗  
るのはあぶないよ。交通  
ルールをしっかり覚えよう。

答え 1. × 2. ○ 3. × 4. × 5. × 6. × 7. × 8. ○

## 【編集後記】

子どもたちにとって身近な乗り物である自転車。自分勝手な運転は自分だけが危険な目に合うのではなく、歩行者や車の運転手、周りの人にも危険な目に遭わせてしまいます。みんなが正しく理解すること、そしてお互いに思いやり、安全を心掛けることが大切なことだと改めて実感しました。ご家庭でも今一度、自転車のルールについて再確認をお願いします。  
(白山中区 椎名)

令和4年度 広報委員：小池（我孫子中区） 椎名（白山中区） 若林（久寺家中区）

本多（湖北中区） 小森（湖北台中区） 白川（布佐中区）

広報委員より

いつも「きずな」をご覧いただき、ありがとうございます。編集会議を通して、子どもたちにとっての安全・安心な街づくりについて、多くの情報交換ができました。